

私の履歴書 パートⅡ

～ロードレース参戦記～

ロードレースとは？

ロードレースとは、アスファルト路面の閉鎖された周回路をバイクで走り、その速さを競う競技です。

国内では50数年の歴史があります。

直線や、左右のコーナーを含んだ距離の長いサーキットコースを使います。

全国のサーキット

- ・ スポーツランドSUGO（宮城県）
- ・ モビリティリゾートもてぎ（栃木県）
- ・ 筑波サーキット（茨城県）
- ・ 鈴鹿サーキット（三重県）
- ・ 岡山国際サーキット（岡山県）
- ・ オートポリス（大分県）

※全日本ロードレース開催コース

スプリントレース



耐久レース



MFJ REGIONAL ROADRACE CHAMPIONSHIP
MFJ 地方ロードレース選手権シリーズ



SUPERBIKE RACE

MFJ 全日本ロードレース選手権





ロードレース世界選手権



バイクに乗るきっかけ

- ▶ こどもの頃から乗り物が好き！
- ▶ 特に自分で運転（操作）できる乗り物が好き！
- ▶ 中学生のころには自転車でドリフトの練習をする！
- ▶ 地元の青年団に入団し、そこでバイクの師に出会う！
- ▶ 免許取得を決意し、中型二輪免許を取得、峠を走り始める！
- ▶ さらに速さに魅力を感じ、レースの世界に興味を持ち始める！
- ▶ 2002年にロードレース参戦を決意し、本格的にレース活動を開始！

2002年シーズン

- ▶ 地元のバイクショップ、SPEED SHOP FUSEからレース参戦を決意。
- ▶ 2002年初旬、マシンを発注するもタイミングが悪く納車まで半年かかる。
- ▶ 2002年の夏、レーシングマシンでのサーキット初走行。
- ▶ ピットアウトした1コーナーで転げる。。。 (笑)
- ▶ タイヤウォーマーを買う。。。。
- ▶ 練習と整備と仕事に明け暮れる日々。
- ▶ 2002年9月、TIロードレースシリーズ 第7戦 ST600クラスでレースデビュー。
- ▶ 初レースながら周りのペースに引っ張られ、自己ベストを更新し予選9番手から4位入賞！！
- ▶ 第8戦では予選8位から2位入賞！！
- ▶ 来年はイケる！！と勝手に思い込み、2002年シーズンを終える。

2003年シーズン

- ▶ 2003年からは地方選手権とウエストエリア選手権にも参戦開始。
- ▶ 第2戦の鈴鹿で2位、第3戦のTIで優勝！
- ▶ ウエストエリア選手権のシリーズチャンピオンを獲得！！
- ▶ シリーズチャンピオン獲得で、国際ライセンスを取得！！
- ▶ 翌年の全日本シリーズの参戦権を手に入れる！！

2004年シーズン

- ▶ 全日本選手権とウエストエリア選手権に参戦。
- ▶ 鈴鹿、岡山以外のサーキットは未知の世界。
- ▶ 初めてのサーキットとライダー層の厚さに苦戦する。。。
- ▶ シリーズランキング26位。
- ▶ ウエストエリア選手権では、全戦で優勝し昨年に続き、シリーズチャンピオンを獲得！！
- ▶ 最終戦でYAMAHAからサテライトチームへの移籍を打診される。
- ▶ 宮城県を本拠地とする「レーシングチーム森のくまさん」に移籍。



2005年シーズン

- ▶ ヤマハ、ブリヂストン、その他メーカーからサポートを受け、「レーシングチーム森のくまさん」から全日本選手権ST600クラスに参戦。
- ▶ バイクとタイヤのパッケージは去年の在籍チームと同じなので、あとはマンパワー！
- ▶ 全国のサーキットも2年目で、言い訳は通用しない。
- ▶ にも関わらず、成績は思うように上がらず。。。。
- ▶ シリーズランキング19位



2006年シーズン

- ▶ 2006年は勉強の年ということで、GP250クラスからの参戦。
- ▶ 昨年までのST600は市販車改造マシン。
- ▶ GP250は生まれながらのレーシングマシン。
- ▶ 同じ2輪車ですが、エンジン特性、コーナリング特性は大幅に異なる。(重量も軽い。)
- ▶ 特にコーナリングスピードは劇的な違いがあり、同じコースでも全く異なる走り方が要求される。
- ▶ 走り方に苦戦しながら、ランキング13位でシリーズを終える。



2007年シーズン

- ▶ 2007年は走り慣れたST600クラスに戻っての参戦。
- ▶ 序盤2戦は苦戦したものの、第4戦のオートポリスで2位争いの末、終盤ミスをして5位。
- ▶ 次戦の菅生に向け、期待が高まる。
- ▶ しかし、第5戦の菅生、ホームストレートで多重クラッシュに巻き込まれる。
- ▶ 220km/hから放り出され、顔面骨折と全身打撲。マシンは大破。
- ▶ 第6戦 ホームコースの岡山は怪我を押しての出場で20位。
- ▶ 最終戦 鈴鹿は13位と結果振るわず。
- ▶ ランキング13位でシリーズを終える。



2008年シーズン

- ▶ 昨年に引き続き、ST600クラスでの参戦。
- ▶ 各サーキットで昨年のタイムを上回れない。
- ▶ サポートを受けている立場でプレッシャーが掛かり、純粹にレースを楽しめない。
- ▶ 最終戦ではレースウィークを通して2度の転倒。
- ▶ 最終的にランキング21位と結果振るわず、2008年を最後に全日本シリーズから引退。



現在

- ▶ バイクは今も好きで、街乗りバイクを所有し、ツーリング等で今もバイクを楽しんでいる。
- ▶ 今年の8月には、当時のチームメイトからお誘いをいただいて、15年ぶりのレース参戦。
- ▶ プレッシャーもなく、何のしがらみも無いレースを純粹に楽しむ。
- ▶ 格式は高くないレースですが、1位を獲得！
- ▶ これからも純粹にバイクを楽しみながら歳を重ねて参ります！









ご清聴ありがとうございました。